

経営理念と創造憲章

「創造 貢献」の理念を基盤とした「カシオ創造憲章」を掲げ、
全社一丸となってCSR経営の推進に取り組んでいきます。

創業者である故・樫尾忠雄が掲げたカシオ計算機の経営理念「創造 貢献」は、「世の中にない独創的な商品を創造することで、人々の暮らしを豊かにすることに貢献する」ということを意味しています。近年、CSR（企業の社会的責任）が重視され、健全な経営体制を維持・運営する企業統治（コーポレート・ガバナンス）や、マルチステークホルダーを意識した企業経営が求められるなかで、カシオはこの「創造 貢献」の意味を社員全員が改めて考え、常に意識し続けることが、創造的な企業風土を保ち、社会貢献を継続していくこと——すなわち社会的責任を果たすことにつながると考えています。

そして、このことを全従業員が明確に認識できるよう、カシオは2003年4月に「企業改革推進プロジェクト」を発足し、創立記念日である6月1日に「創造 貢献」の今日的な意味を明文化した「カシオ創造憲章」を制定。2003年12月には、創造憲章の周知徹底を図るために、各章ごとに具体的な行動基準を示した「カシオ行動指針」を作成しました。

また、従業員が良識ある行動を実践することを目的に、人権の尊重や公私の分別、環境保全、社会貢献など、日常活動において守るべき条項を示した「カシオ倫理行動規範」（1998年10月制定）→P16 を、創造憲章に基づく体系的な規範とするべく、2003年

7月1日に改訂しました。これら理念や憲章、指針、規範などはすべてカシオのウェブサイトやグループのイントラネットを通じて情報発信し、社内外への浸透を図っています。

経営理念



ーカシオ創造憲章・行動指針ー カシオで仕事を進める全ての人の誓い

「カシオ創造憲章」は会社創立記念日にあたる2003年6月1日、経営理念を確実に施行するための、全社員の共通理念として創出されました。「カシオ行動指針」は「カシオ創造憲章」のあるべき行動をより具体的に示したもので、全役員および全部門長が誓約をしています。

第1章 私たちは、独創性を大切に、普遍性のある必要を創造※します。

〔行動指針〕

1. 全てに対し、“普遍性のある必要”を追求する
2. 全てに対し、“あるべき姿”を描く
3. 全てに対し、“挑戦する意志”を貫く

第2章 私たちは、社会に役立ち、人々に喜びと感動を提供します。

〔行動指針〕

1. 人々に、“無限の感動”を提供する
2. 人々と、“豊かな生活”をわかちあう
3. 人々と、“尊敬と信頼”の絆（きずな）を育む

第3章 私たちは、プロフェッショナルとして、常に誠実で責任ある言動を貫きます。

〔行動指針〕

1. 全ての言動に対し、“規則・法律に基づき”責任ある態度を貫く
2. 各々の役割に対し、“結果・成果”の責任を執る
3. 全ての仕事に対し、“毎日改善”に努める

※普遍性のある必要を創造：誰にとっても必要でありながら、まだ世の中になかったものを、新たに生み出すこと。
これは製品開発のみならず、すべての業務においてカシオが追求すべきものです。